

病院だより

新潟県見附市学校町 2-13-50

TEL 0258-62-2800 FAX 0258-61-1700

ホームページアドレス <http://www.mitsuke-hospital.jp>

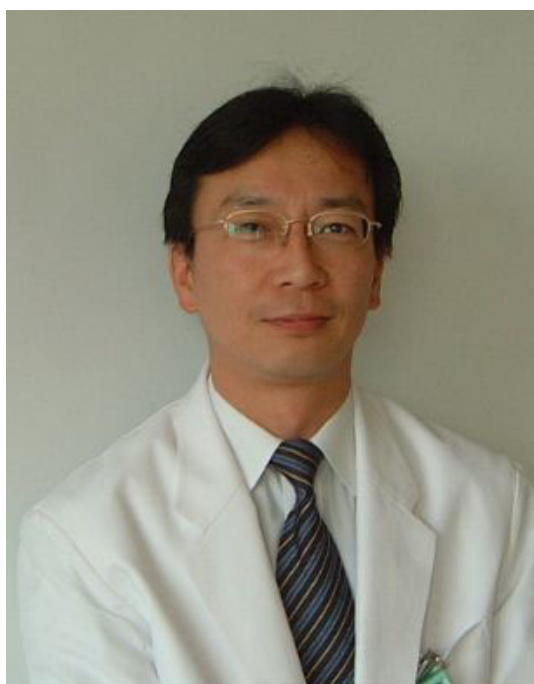
日曜救急当番日 毎月第1日曜日

コンテンツ

特集 新診療部長兼外科部長「南村 哲司先生に聞く」

紹介

南村先生は最初の赴任が平成7年4月で、今回3回目となります。
専門は消化器外科で、特に大腸の手術を数多く手掛けられています。
長年、大学病院をはじめ、多くの関連施設で研鑽を積み、益々ご活躍中の
南村先生からお話を伺いました。



医師 南村 哲司
tetsuji minamimura

富山医科薬科大学
第二外科 前講師
日本外科学会 指導医
日本消化器外科学会 専門医
日本大腸肛門病学会 専門医
医学博士

趣味 料理

特集 「南村先生に聞く」

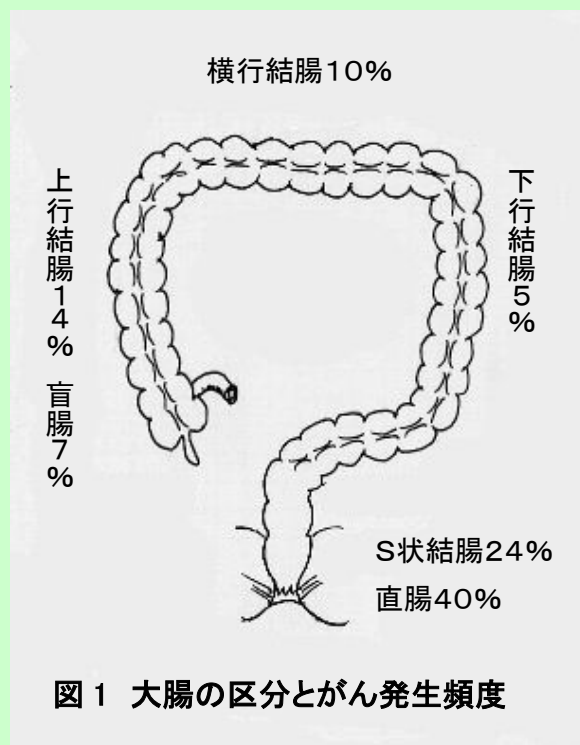
☆「大腸がんは便潜血検査で発見できるのですか？」

大腸がんは増加傾向にあり、ある年齢に達すると大腸がん検診が行われています。検診では、大腸に「がん」があるかどうかを検査しているのではなく、便に血(潜血)が混じっていないかを見ています。大腸に腫瘍があったり炎症や痔核があると便に血が混じることが多くなります。確かに「大腸がんは出血しやすい」のですが、**早期の場合は出血を伴わないことがよくあり、この検査では捕えることができません**。早期発見のために、大腸の定期的な検査(注腸、大腸内視鏡)は、ぜひ必要と思われれます。

☆「大腸の検査って？」

大腸の検査は、バリウムを用いてレントゲン写真を撮る**注腸検査**と内視鏡(カメラ)を用いる**大腸ファイバー検査**がありそれぞれ利点と欠点があります。どちらも腸内に便があると検査ができないので下剤で腸を空にする必要があります。注腸は腸の形を見る検査で、異常が疑われると大腸ファイバーで確認することになります。どちらも当院で行うことができます。

☆「大腸ファイバーはつらい検査なの？」



「つらいという感覚には個人差があります。特にS状結腸(図1)のように曲がりくねった箇所をファイバーが通過する時に圧迫感があります。

適切な薬を使用し、軽く眠った状態で楽に行なうこともできます。所要時間はだいたい20分程度です。異常が発見されると、その場で細胞の検査のためのサンプルを採ることもできます。

怖がらず、恥ずかしがらずに積極的に受けて下さい。

☆「ポリープがあったら？」

大腸にポリープが発見される方は少なくありません。良性のポリープで、よほど大きくなければ、**大腸ファイバーで切除でき(内視鏡的治療) 治ってしまいます(図2)**。ごく浅い粘膜までの早期がんも内視鏡治療で治りますので、できるだけ早期に発見することが重要です。

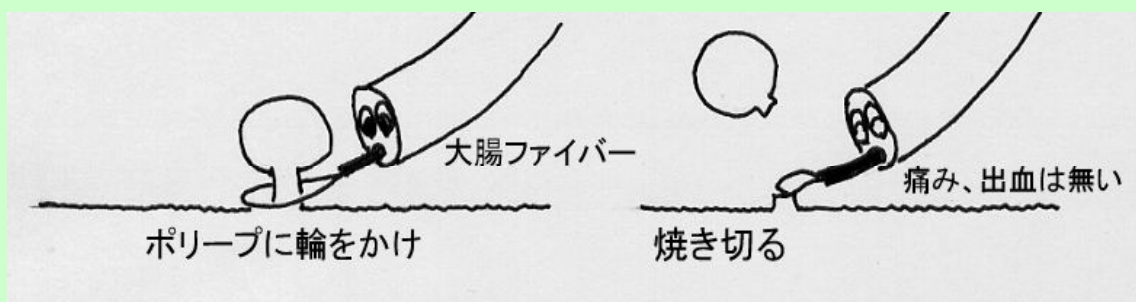


図2 内視鏡的ポリープ切除術

☆「早期のがんとは？」

図3に大腸の構造を示します。**早期がんは、粘膜までのがん(m 癌)と粘膜下層までのがん(sm 癌)です**。それ以上深く進展すると進行がんと言われます。sm 癌でも約10%前後にリンパ節転移を伴います。したがって、早期がんでも sm 癌は内視鏡の治療だけでは再発することがありますので手術が必要になりますがほとんどの方が治癒します。進行がんでも手術によって治癒することもできます。

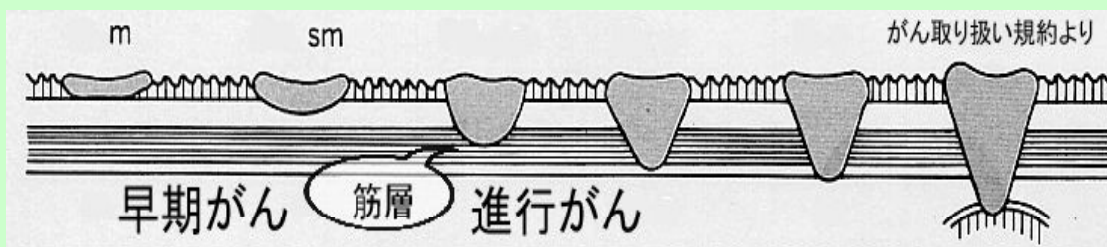


図3 大腸の断面構造とがんの進達度

☆「手術ってどうするの？」

リンパ節転移の可能性がある場合は手術が必要です。手術には通常の**開腹手術**と**腹腔鏡下手術(図4)**があります。通常の開腹手術はおなかを大きく開ける必要がありますが、腹腔鏡下手術ではカメラを用いた手術で6cm程度の創1箇所と小さい1cm程度の創数箇所ですみますので、身体的負担は少なく回復は早くなります。

当院では全身状態や病変場所に応じてどちらの手術も選択することができます。

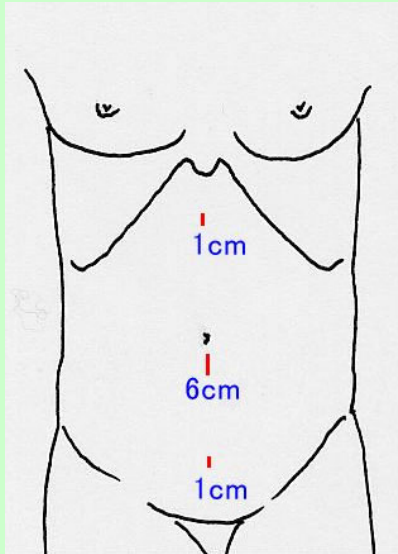


図4 腹腔鏡下手術の創の位置と大きさ

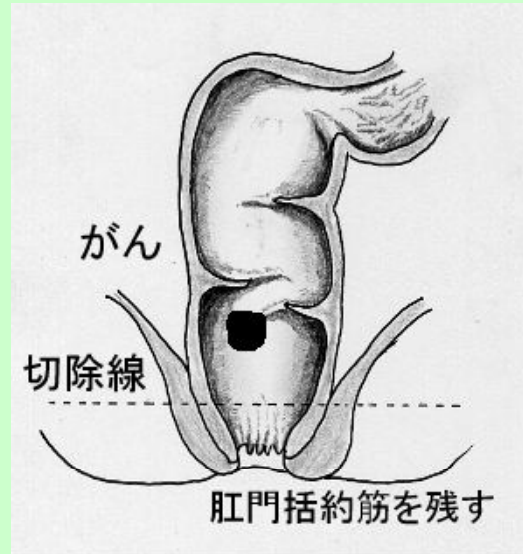


図5 直腸の解剖図

☆「直腸のがんは人工肛門？」

図1で示したように、大腸がんの好発部位は直腸で、全体の40%にもおよびます。この場所は肛門(図5)に近い場所によっては肛門も切除する必要が出てくる場合があります。そうした場合、人工肛門(ストーマ)を作ります。ストーマの装具は様々な工夫がされ、日常生活で困ることはあまりありませんし、治療のために必要なことですから恥ずかしいことはありません。しかし、**肛門機能を温存することで患者さんの精神的、肉体的負担は軽減できます。**

当院では可能な限り肛門を残し、機能を可能な限り温存する手術方法を選択しています。早い発見が温存の可能性を広げます。下血が痔によるものだと自分で判断せず、早めに診察を受け正確な治療をしましょう。

☆「大腸がんは遺伝するの？」

遺伝が関与する大腸がんはありますが、すべてにはあてはまりません。しかし親族に大腸疾患の方がいると注意が必要とされています。大腸やお尻の診察は気が進まないもので、どうしても後回しになりがちです。

私たちスタッフはこうした病気の専門でもあります。

ぜひ、お気軽にご相談下さい。

(外科 南村)

編集部より

「早期発見、早期治療」、よく聞く言葉ですが、人間とは弱いものでなかなか実践できません。しかし、日本人の約30%の方は「がん」で死亡しています。

皆様は、この数字をどのように受け止められますか？

(編集部 目崎)